

診査所見	體格 (大 中 小)	體重 瓦 身長 種 頭圍 種 胸圍 種 腹圍 種 座高 種	胸廓 前後經 種、左右經 種 肋骨弓角 度形:正、鳩、漏 斗、扁平、細長、兩側不同 橫溝 念珠 運動:
	榮養 (上 中 下) 筋肉 皮下脂肪(腹壁 耗)		心臟 心尖搏動:正常、可視、擴大 濁音界: 心搏動:正常、亢進 心音:純、不純、雜音 第二肺動脈音<=>心尖音 股動脈音
	顔貌 平常 顔色		肺臟 打診: 聽診: 肺肝界:
	皮膚 色:正常 蒼白 黃疸 緊張:正常 低下 汗疹: 間擦疹 デルモグラフィ-		視診:正常、隆起、陷沒 臍:正常 觸診:正常、軟 ヘルニヤ 肝臟:觸、否、 大サ 硬度 縁 表面 脾臟:觸、否、
	精神状態 平靜 不安 機嫌:良 普通 不良 意識: 智能:		脊部 脊部:正、前彎、後彎、左彎、右彎
	體溫 度(腋下、口内、肛門) -聲:平常、低、嘔、無音 脈搏 數 緊張 呼吸 數 型		生殖器及肛門 正常、陰囊水腫、潜匿辜丸 脱腸 肛門
	頭型 靜脈怒張 頭蓋癆		淋 顎下腺 耳下腺 鎖骨上窩腺 肘 腺 鼠蹊腺
	毛髮 平常、粗、密 大額門 開 閉 縫合 開、閉、觸 經 (種 類)		四 四肢 上肢 利手 下肢 跛躄右 個左 個 骨端肥大
	眼 結膜:充血、 眼脂 瞳孔:形 反應 斜視: 眼瞼下垂:		神 運動 步行 知覺 反射 膝蓋:正、亢進、消失 アキレス腱:正、亢進、消失 腹壁: ババンスキー:(左右)
	鼻 正常 鞍狀 鼻閉 鼻分泌		
唇 濕 乾 赤 チアノーゼ 皸裂			
齒牙 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5 5 4 3 2 1 1 2 3 4 5			
齒齦及口腔粘膜 濕 乾 齶口瘡 アフテン コブリツ ク氏斑			
舌 濕 乾 舌苔 地圖舌 舌繫			
咽 頭 正常 發赤 扁桃腺 正常 肥大 (1,2,3,度) 埋・痰			
耳 耳殼形狀 肘膝 耳漏 (右、左、兩側)			
頸 項 斜頸 頸腺 (右 左)			

既往歴 並 發育	出生時状態: 出生時體重 黃疸持續日數 臍帶脫落 (第 日)	微笑 音響=向> 流涙 陶語 首ノ据リ 把握 音笑 えんこ 寝返リ 人見知り ツカマリ 這行 獨リ立チ 立チ 父母ノ認 歩行 意味アル 識 單語 模倣 目的アル 自己意識 行動 小話小歌 色覺 匙ニテ食 ノ記憶 事ヲナス 其他	上 生齒並齶齒(發見月數) 生齒並齶齒 下 生齒並齶齒	第小 第小 犬 外 内 内 外 犬 第小 第小 二白 一白 門 門 門 門 門 門 一白 二白
	保育者: 實母、繼母、養母、里子、女中(何時カラ:) 幼稚園(又ハ托兒所) 實母ナラヌ理由及保育者ノ教育程度	入浴 日 回(自宅、公衆浴場) 日光浴 おむつ おんぶ 衣服 重量 地質 遊 戲 性質 習 癖 機嫌 食慾 發汗 流涎	睡眠、良否、[晝 時間]計 時間 添寝、獨寝 [夜 時間] 糞便日回 良、否、(黃、綠、灰色、軟、硬、水様、顆粒、粘液、酸臭、腐敗臭) 其他	尿 遺尿
	種痘(歳 月)善感 個 麻疹(歳) 百日咳(歳) チフテリヤ(歳) 猩紅熱(歳) 肺炎(歳) 消化不良(歳) 腦膜炎(歳)	既往ニ於ケル諸テスト: ツベリクリン反應+- (歳 月)、ワ氏反應+- (歳 月)シツク氏反應+- (歳 月)		
	種類 使用期間 方 法 備 考			
	母乳 牛乳 粉乳 煉乳 其他			
	母乳量又ハ調乳法 開始時期 授乳間隔 (1日回數) 一回授乳時間			
	母乳 多 中 少 生後 ヶ月 一定、略一定、不定 每 時 (回)			
	牛乳又ハ代用品 (名、稱) 添食物 (種類、開始ノ時期、現在ノ方法) ソノ他記入			
	食 離乳 完、未完 (夜 回 晝 回) 餌 間食 偏食 買食ヒ			

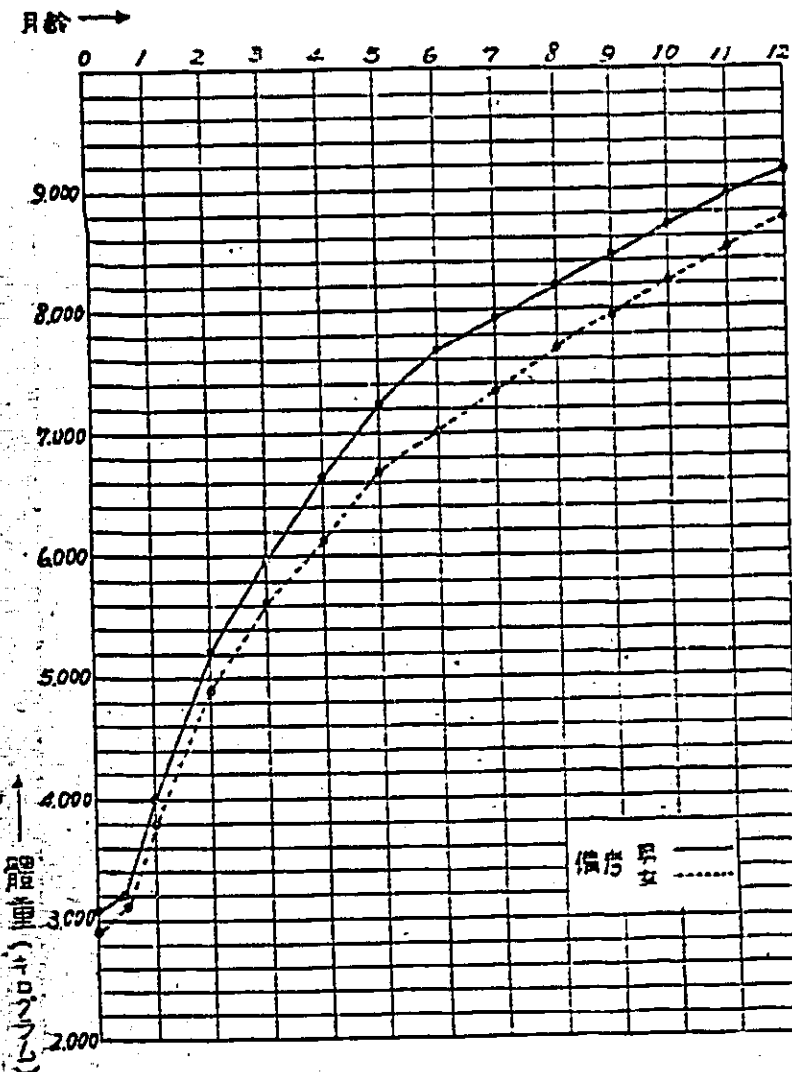
例3表

開設場所 _____ 乳児相談二號用紙 家族番號 第 _____ 號

受付番號 第 _____ 號

姓名 _____

年齡 昭和 年 月 日生



	體重		身長	
	男	女	男	女
新	3.060	2.950	49.4	48.5
半	3.210	3.170	52.1	51.3
1	4.000	3.800	54.5	53.6
2	5.210	4.920	58.1	57.1
3	5.970	5.610	60.3	58.9
4	6.660	6.150	62.1	60.8
5	7.270	6.700	63.8	62.8
6	7.670	7.040	65.5	64.2
7	7.940	7.350	66.9	65.5
8	8.220	7.690	68.2	67.0
9	8.440	7.970	69.4	68.4
10	8.700	8.210	70.6	69.5
11	8.920	8.470	72.0	70.5
12	8.170	8.690	73.2	72.0

摘要	相談日	月 齡	體重 キログラム	身長 センチメートル	坐高 センチメートル	胸圍 センチメートル
生年月日	月 日	ケ月 日				
年月日生	月 日	ケ月 日				
出生時體重 貫(キログラム)	月 日	ケ月 日				
早産、常産	月 日	ケ月 日				
	月 日	ケ月 日				
養 養 人工、混合、母乳	月 日	ケ月 日				
	月 日	ケ月 日				
	月 日	ケ月 日				
	月 日	ケ月 日				
	月 日	ケ月 日				
	月 日	ケ月 日				

例2の第4頁

検査試験 成績	ツベルクリン反応 { 貼布反応 マントー反応	
	血 壓 { 最 大 最 小	
診 断 (概評)		
指 示		調査事項
		検査醫
爾後 経過及 要點 轉歸		

例 4

(受託児童票用紙二號)

(3)

姓 名		男 女	昭和 年 月 日生				
月別	検査事項	昭和 年	摘 要	昭和 年	摘 要	昭和 年	摘 要
四 月	體 格						
	身 長						
	體 重						
	胸 圍						
	頭 圍						
	其 他						
五 月	體 重						
六 月	〃						
七 月	〃						
八 月	〃						
九 月	〃						
十 月	體 格						
	身 長						
	體 重						
	胸 圍						
	頭 圍						
	其 他						
十一 月	體 重						
十二 月	〃						
一 月	〃						
二 月	〃						
三 月	〃						
備 考							

例 4

(2)

受託當時ノ診査事項			
昭和 年 月 日診査			
體 格	上 中 下	齒	初生齒 75632 23657 生後齒 上下 75641 14657
榮 養	上 中 下	胸 部	
脊 柱	正 彎	腹 部	脾臟 肝臟
體 重		四 肢	
身 長		皮 膚	
胸 圍		淋 巴 腺 腫 脹	
頭 圍		精 神 發 育	
坐 高		其 他	上 普 下 異 常
頭 部	大 聰 門 開 閉		
頸 部	頸 部 腫 脹		
眼	結膜炎 トラホーム	性 格	快活 銳敏 從順 大膽 粗暴 正直 親切 統率能 社交性 注意 普通 陰氣 鈍重 強情 臆病 卑屈 貧慾
耳	耳漏 耳聾 耳塞		
鼻		性 癖	盜 心 虛 言 夜 尿
扁桃腺	肥大無 1度 2度 3度		
診 斷	健 病名	指 示	
保育方針及 保育中注意 ヲ要スヘキ 事 項			
除籍時ニ於 テ兒童ニ對 スル感想 記 事			
除籍理由			
除籍月日	昭和 年 月 日	擔當方面委員	

施設名
保健指導部勤務報告

昭和 年 月 日 曜日 氏名		区域	
出勤時間		退社時間	
執務事項		執務時間	
時	分	時	分
家庭訪問	準備	見學	
	訪問時間	聴講	
	記録	館外會議	
健康相談	準備	館内會議	
	相談時間及種類	事例ノ研究	
	記録	保健指導部會	
共同	他トノ連絡	規範指示及討論	
	報告作成	其ノ他	
	学校看護	整理	
	町村衛生事務	食事	
	学校教員		
その他	講習會ソノ他		
	出張		

家庭訪問=關スル報告

家族番號	姓	生	住	所	訪問時間	新	再	休	復	訪問種別
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										

1 訪問 種 別	小兒事例 1(小)	花柳病 相談者 1(性)	計						
	妊婦事例 1(妊)	職業病 相談者 1(職)	不在 1(不)						世帯總數
	診察助産手當	トラホー ム患者 1(眼)	行方不明 1(行)						
	學童事例 1(學)	傳染病 患者 1(傳)	死亡 1(死)						總人數
	成人事例 1(成)	保菌者 1(保)	連絡 1(連)						
	結核患者 1(結)	移轉 1(移)	患家消毒 1(消)						
	精神衛生 相談者 1(精)		屍體處置 1(屍)						
		其ノ他 1(他)							

統計

統計的報告を作る目的
日報表
月報表

統計的報告を作る目的

- 一、社會保健婦によつてなされる諸活動の全國的狀態を知る爲めに。
 - 二、取扱狀況の逐時的、月次的、年次的變動を知る爲めに。
 - 三、比較することによつて、如何なる方法が最も効果的であるかといふその事實を知る爲めに。例へば、社會保健婦事業を行つてゐる各社會的施設間の諸成果の比較、又は同一主體のものであつても地域的に或ひは規模を異にしてゐる場合は其等相互間の比較の爲めに。
 - 四、社會保健婦又は施設各自の自己評價の爲めに。
 - 五、保健衛生、醫療、社會事業その他の現在における實際効果を判斷し、新しい計畫を進める場合の資料として。
 - 六、社會保健婦事業の支持者或ひは社會一般に對して、その意義を説くべき手段の提供の爲めに。
- (但し、(四)が個人である場合には、更に統計的報告以上のものを必要とし、そのためには、個別的社會保健婦の具體的取扱活動の報告を分拆し、検討し、比較しなければならぬ。)
- 次に掲げるものは東京市保健館使用の勤務報告書に僅か筆を加へたもので、各社會保健婦が毎日記すのであるが、この報告書の内容を月報にし、更に年報にするのである。月報の様式のみ掲げたが、年報もこれと同様でよい。

種別	家庭訪問			相談介補			研究事項				其他			
	準備	訪問	記録	準備	介補	記録	規 範 指 示 討 論	見 學	事 例 ノ 研 究	會 議 (館 内)	會 議 (館 外)	見 學 者 ト ノ 會 合	聽 講	他 ト ノ 連 絡
第一區														
第二區														
第三區														
第四區														
合計														

保健會 勤務時間月報 (昭和 年 月 日)

事例種別	部落別	部落名	部落名	部落名	計

部落別、新再休復別月計表

計	講習會	パンフレット等宣傳文配布

5、その他

計	榮 品

他		町村衛生事務	學校教員	講習會その他(各種共同施設(協力))	記録	出張	整理	其他	受付	合計

備考 一、他トノ連絡(各種相談所及社會事業機關トノ連絡)
 二、規程指示討論(新入保健婦及實習生ニ對シ訪問ノ方法、家庭ニ於ケル看護方法其他ノ指示討論)
 三、學校看護(小學校ニ於ケル學校衛生婦トシテノ任務)
 四、出張(各部ニヨリテ行ハレル事項ニ對スル館外ニ於ケル出張介補)
 五、整理(備品、消耗品其他ノ整理)

注意 特に母性及び乳幼児の保護に中心を置く場合は、妊娠の月別、乳幼児の月、年齢別、男女別等の訪問回数、事例數等の日計月計を取つておくと、斯業の爲めに非常に役に立つことと思ふ。

第五章 訪問指導の準備(その二)

対象家庭、受持區域、受持戸數、訪問回数、携帶品、服裝、名刺
 常備藥、醫療器具、助産用品

家庭訪問の対象となる家庭

- 一、社會保健婦の活動基點たる保健施設の各種相談に自發的に來訪せる事例中訪問を必要とする家庭。
- 二、他の機關より紹介せられたる家庭。
 - 1、病院、開業醫、看護婦、産婆等より紹介せられたるもの。
 - 2、警察方面より紹介せられたるもの。
 - 3、社會事業關係(主として方面委員)より紹介せられたるもの。
 - 4、婦人團體、協同團體その他より紹介せられたるもの。
- 三、社會保健婦の活動基點たる保健施設の施行する出生、死亡調査並に諸種の衛生調査等によつて判明せる要訪問家庭。
 (次に掲げる出生調査票、患者調査票、保菌者調査票等は、東京市保健館の使用せるものであるが、前者は産院、助産婦等を通じ、後二者は警察等を通じても爲すことが出来る。)

東京市特別衛生地區保健館

第 號

出 生 調 査 票

家族番號

出生兒氏名			出產ノ別	單生	双生	複生
続柄	男	女	嫡・庶・私ノ別	嫡子	庶子	私生子
出生ノ場所	區 町		丁目	番地	號	方
住 所	區 町		丁目	番地	號	方
出生ノ年月日	昭和 年 月 日					
出生兒ノ本籍地	府 縣		市 郡	町 村	番地	
父母ノ姓名	父	父母ノ職業		父		
	母			母		
父母ノ生年月日	父	年 月 日	備考			
	母	年 月 日				

姓名

患 者 調 査 票

昭和

年 第

號

東京市特別衛生地區保健館

姓 名			男 女	年 齡	數~年 歲 (年 月 生)
住 所	町	丁目	番地	職 業	本人 家主
住 居	室	座(坪)	使 用 水	水道水、井水、泉水、井川	井 川
現在人員	人	一人=付	便 所	水 洗、汲取、泉水、井川	井 川
預防接種	年 月 日 回		誘 因		
傳染系統					
發 症	病	月 日 午 時	決 定	月 日 午 時	時
肩 接	又 見	月 日 午 時	療 養 場 所	月 日 第 號	私費入院
轉	處	月 日	病 者 後 決 定	月 日 第 號	保費者調査票
病 狀 概 況	診 斷				
備 考	輕 ・ 中 ・ 重				

患者並家族既往歴

氏名	項目	世帯主トノ 世帯柄(性)		生年 月		生年 月		赤痢		腸チフス		バラチフス		猩紅熱		チフセラリ		其他傳染病 其定傳染病		麻疹		百日咳	
		男	女	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月

疾

病名 保菌者調査票 昭和 年 第 號
東京市特別衛生地區保健館

姓名	男女	年齢	数へ年	歳	年	月	日生)
住所	町	丁目	番地	職	業	本人	家計主
住居	室	疊(坪)	使用	水	水道水、非水、専用、共用	洗面、汲取、専用、共用	
現在人員	人	一人=付	疊	便所	水	洗、汲取、専用、共用	
決	定	月	日	午	時	健康保菌者、病後排菌者	
健康保菌者	発見方法	調査票番號					
健康保菌者	關係患者又ハ保菌者	調査票番號					
排菌後者	發病	月	日	午	時	患者調査票	昭和 年 第 號
轉歸	遺留死死亡	月	日	午	時	死亡時病名	昭和 年 第 號
移	患者決定	月	日	午	時	調査票番地	昭和 年 第 號

疾

擔當區域とすることは出来ない。

昭和九年三月末に済生會救療部に於て調査したものとすると、同會巡回看護婦一人平均の受持患者数は四二となつて居り、これに對する訪問は三日又は四日毎に一回の割合となつてゐる。假りに四日に一回とすれば一年には三、八四三回、三日に一回とすれば、同様にして五、一二四回となり、一保健婦一日の訪問回数は一〇——一四回に當る。

又、東京市特別衛生地區保健館では保健婦一人當り四千人(約八百世帯)に當り、アメリカでは保健婦一人當り二百五十人(五十世帯)となつてゐる。斯くして、訪問回数は、事例又は家庭の健康状態、榮養状態、經濟状態、教育程度、又は事例の相談所を訪れる回数、その他家庭に於ける諸問題の有無によつて決定されるもので、決して一律に定めらるべきものではないが、現在の日本に於ける多くの場合の様に、一人の社會保健婦が凡てをなさなければならぬ時は、一人二千人即ち約四百世帯以上の地區を擔當しては効果ある活動を期待し得ないであらう。

而して、農村における現状の如く、社會保健婦が、町村の衛生事務、學校看護婦、小學校教員等をも兼務して、その上農繁期託兒所、共同炊事の世話等々をすら負擔せしめられる時は、五〇〇乃至七〇〇世帯程度の小村落においても一人の保健婦では不充分であらう。

訪問鞆の内容

鞆内には指頭消毒器、檢温器(肛門用、腑窩用、更に所持せざる家庭に貸用するため一本)ワゼリン、アルコール、ゴール、マーキニコクロム、ホーサン軟膏、軟クレゾール、オキシフル、注射用カンフル、石鹼及び石鹼入れ、鋏、爪切、毛抜、耳掻き、ピンセット、皮下注射器、舌壓子、巻綿子、綿棒、懐中電氣、繙帶材料、ガーゼ、脱脂綿、汚物入紙前掛、訪問票、名刺、手拭、パンフレット、萬年筆、又は鉛筆、手帳(メモ)處方箋、封筒(醫者と同行の場合のため)其他必要に應じて種々なる器具を用意する。

家庭訪問の服裝

夏冬一定せる制服、制帽、外套、靴を着用して家庭訪問を行ふことは、諸種の點より考へて望ましい事である。第一に働き易く、華美に流れることなく、洗濯が簡單に出来る爲に常に清潔に保つ事が出来る。又服裝の統一によつて仕事の紹介をする事になる。又勤務時間と時間外の生活を判然と區別する事が出来る。

名刺

名刺は、いふまでもなく、所持者の身分を示すものであるから、社會保健婦の設置主體、保健婦氏名、保健婦駐在所番地、同電話番号、等は記すのであるが、その他、社會保健婦とは如何なることを爲すものであるかといふことを簡単に記しておくこと、社會保健婦に馴れない地區を巡回訪問する時に、非常に役立つであらう。

次に掲げるものは、東京市特別衛生地區保健館の例である。


又、相談所等の場合で、相談受付日、その他が定期的で、豫め決定してゐる場合は、その日時等を記しておくこともよい方法であらう。

但し、事業内容に關する詳細な宣傳文等は、他にパンフレット、ビラ等の形式に印刷して配布すべきである。

社會保健婦の常駐場所には、次のような救急藥品、家庭常備藥、衛生材料、醫療器具、その他を常に準備し、なるべく家庭常備藥は各家庭に備へしめ實費を徴収するがよい。

表

東京市特別衛生地区保健館
保健区受持
保健婦
電話 東京局 八六〇一
京橋区明石町五十三番地



保健婦は皆様の御家庭を訪問致しまして、皆様が病氣におわかりにならぬやうなほいやが上にも健やかに楽しくお暮しになるやう御相談の御相手にならうことに努めて居ります

裏

救急薬品

- オキシフル (五〇〇瓦)
- アルコール (〃)
- リゾール (〃)
- マキニロ (一オンス)
- グリセリン (五〇〇瓦)
- 硼酸 (〃)
- ヒマシ油 (〃)
- オレノゾ油 (〃)
- 亜鉛華澱粉 (〃)
- 硼酸軟膏 (〃)
- ウイキンソン (〃)
- ワゼリン (〃)
- カルボールチンクリニメント (〃)
- テールパスタ (〃)

家庭常備薬 (次の例は産業組合のもの)

- マキニロ (一オンス)
- グリセリン (五〇〇瓦)
- 硼酸 (〃)
- ヒマシ油 (〃)
- オレノゾ油 (〃)
- 亜鉛華澱粉 (〃)
- 硼酸軟膏 (〃)
- ウイキンソン (〃)
- ワゼリン (〃)
- カルボールチンクリニメント (〃)
- テールパスタ (〃)

一定の袋或は箱に收め、これには夫々の效能と用法を印す。毎月一回定期的に使用數量に應じその代金を回収し、薬品を補給する。

A、目の薬 (外用)

目薬

B、皮膚病薬 (外用)

メンソールクリーム、外傷薬、皮膚薬、吸出膏、赤チンキ、あかぎれ膏、あんこ膏、あせも打粉

C、痔薬（外用）

痔疾軟膏、痔疾座薬

D、胃腸病薬（内用）

胃散、胃腸錠、腹痛錠、下痢止、下劑、共榮丸、赤煉薬、コーボン錠、神薬

E、風邪薬（内用）

解熱錠、頭痛錠、せき薬、小兒せき薬

F、神経循環系薬（内用）

ふり出し薬、小兒救命丸

G、驅蟲薬

驅蟲錠、まくり湯

衛生材料

脱脂綿、ガーゼ、リント布、亞麻仁油紙、三角巾、繙帯、晒、眼帯

醫療器具其の他

注射筒、注射針、體溫計、氷漚、氷枕、吸入器、洗腸器

搾乳器、哺乳瓶、乳首、携帶用自動式體重計、乳幼兒身長計、乳幼兒體重計、胸圍計、

助産用品の貸與

助産用品は必要なものを袋に入れて一括貸與するのであるが、消耗品に關する限り實費を徴收し、その他は、使用後丁寧に洗つて袋に入れた上返還せしむる。

袋の内容は次の通り。

一、脱脂綿、ガーゼ、臍繙帯、滅菌罐入、壓抵布、丁字帯、ピンセット

一、洗面器、石鹼

一、湯上タオル、手拭

一、油紙